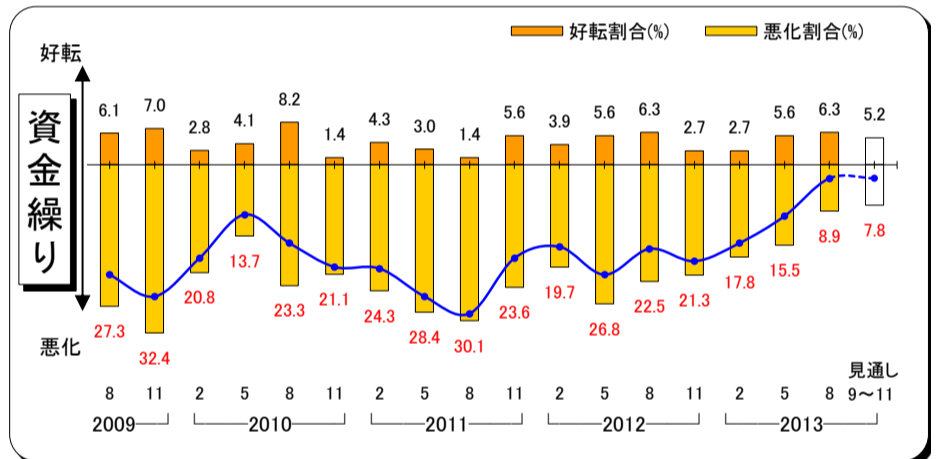
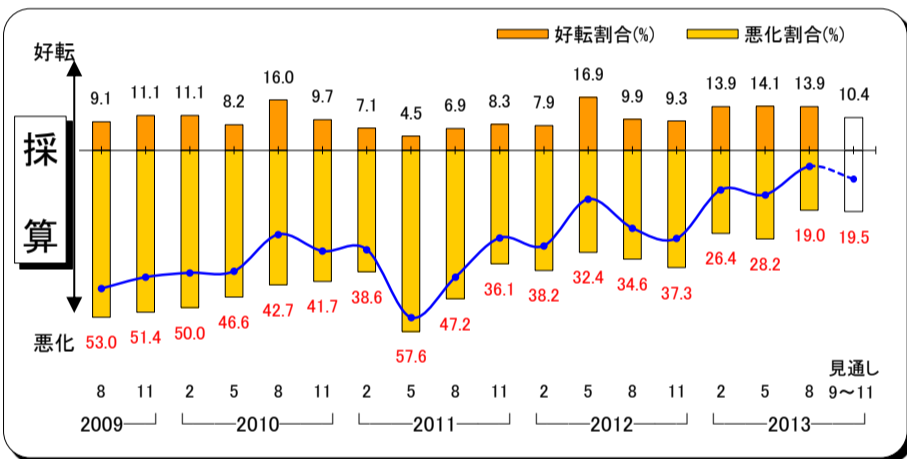
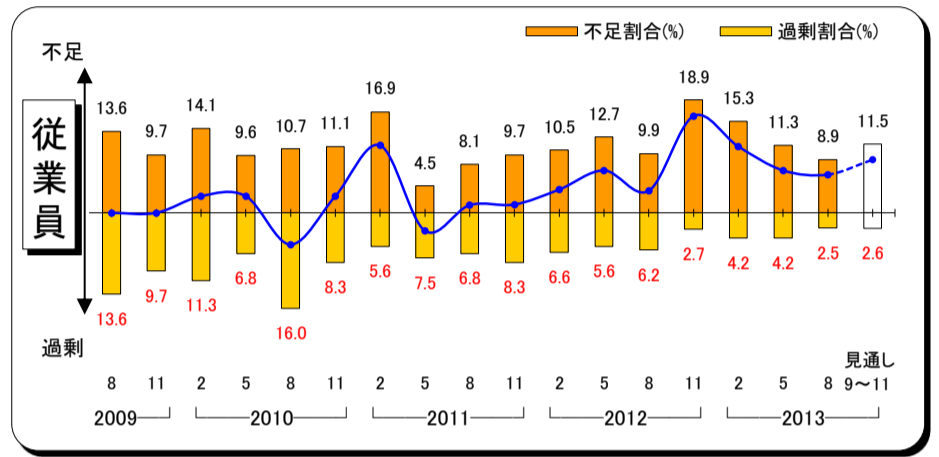
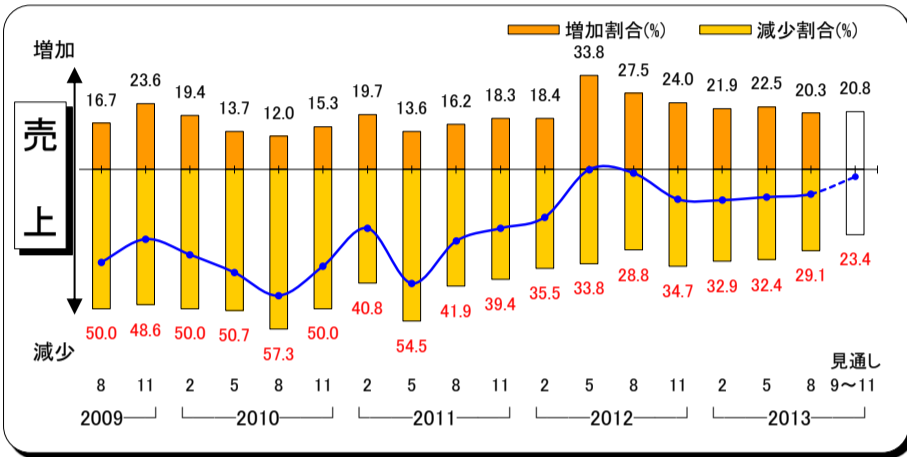
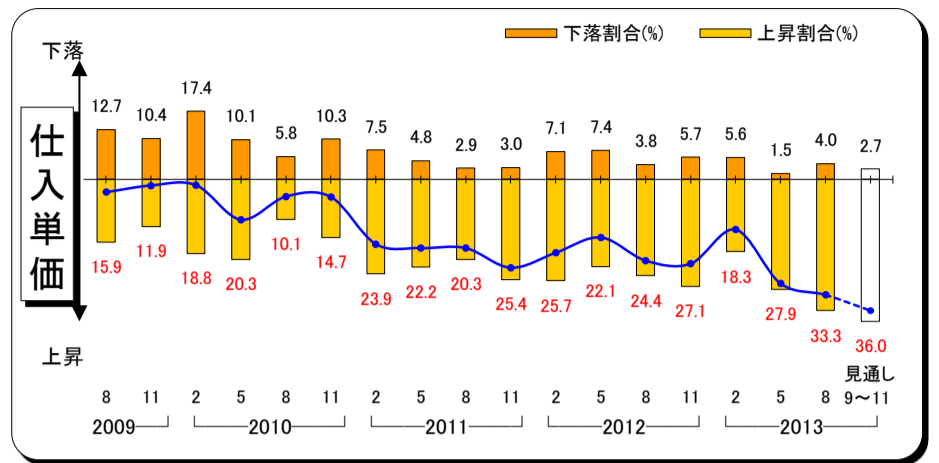
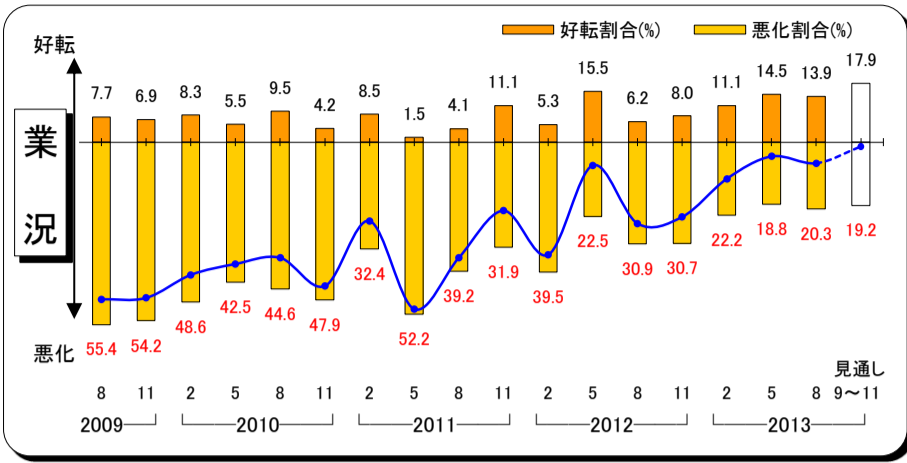


【サービス業】①



【サービス業】②

企業の声（順不同）

運輸附帯サービス業	世相はアベノミクスで上昇転換気分、百貨店では高額商品が売れているとか総じて良いようだが、当方には影響薄。円安解消で輸出にドライブかかると思っていたが、意外に期待薄だ。円安による原材料等の高騰のため動きは低調なのか、加えて定期的な設備修理、本船の出入りが少ない。準じて作業等売上は伸びず、現況は低調に推移している。大きな転換望めず、低調な動向が続くと思われる。雇用は変わらず。
建設機械器具賃貸業	消費税増税前の駆け込み需要のため忙しいが、原油価格上昇により採算は悪化？売上に反映できない。
建築設計業	行政・独立行政法人等の未利用他の物件処分にもなう業況が好転しているが、数量として先行き見通しまで好転かといえそうとは思えない。一般的なものにまで波及するかどうかは、経済対策の成否にかかっている。
建築設計業	民主党政権時に比べると将来の展望が開けてきた感がある。企業の設備投資、個人の住宅投資に期待したいが、消費税の増税の影響が気になる。
旅館・ホテル	為替の影響につき、旅館ホテル業においては光熱費や食料品等価格上昇の類のものが多く影響している。海外旅行者受入には利点もある。
専門料理店	飲食業部門では、対前年比で売上増となっているが、一部原料の値上がりにより利益を割り引いて考えなければならない。輸入卸業務では売上減であるものの、月によっては前年を上回ることも出て来ており、業況は回復して来ているように思う。ただ円安と原産地価格の値上げによりコストアップとなっているので、会社全体として今期の利益が昨年を上回るには、大変な努力が必要であると思う。
機械修理業	中古建機の需要は国内外ともに増加の様子。中古建機オークションは値段高めの需要あり。しかしながら供給が不足している様子なので、買い付けに来日した方々は落胆の様子あり。
ビルメンテナンス業	原材料価格の高騰や、原油価格の上昇によるコストアップが懸念される。従業員の高齢化により人員も不足している。